

平成 27 年 10 月 27 日

科学者委員会「学術の大型研究計画検討分科会」審議経過の委員長メモ

相原 博昭

第 23 期学術会議における、6 回にわたる分科会で合意・決定した事項のまとめ

1. 第 22 期に発出された提言「第 22 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン 2014）」の改訂版となるマスタープラン 2017 を策定する。（マスタープラン 2017 は、マスタープラン 2014 を更新、改訂することを目指す。）
2. 学術の大型研究計画の対象について：大型施設計画とデータベース型やネットワーク型の共同研究に代表される大規模研究計画の二つを対象とする。計画の規模も、「実施期間 5-10 年程度、及び予算総額数十億円超（上限は特に定めない）の予算規模」で 2014 と同じ。
3. 三種類の提案を受け付ける：新規提案、マスタープラン 2014 に採用されなかった提案の改訂された提案、マスタープラン 2014 に採用されたもので、改訂された提案（アップデート版）。なお、改訂には、年次計画の変更など小改訂も含むものとする。
4. 分野をまたがる融合領域を設定する。審査体制と審査項目を明確化してあらかじめ記載する。
5. 公募開始は 2 月中旬から月末を目途とし、一ヶ月間公募する。2017 年夏の概算要求に間に合うように努める。
6. 前期の重点計画に何らかの配慮をするが、無条件に優先される訳ではない。
7. 他府省との意見交換も進める。

そのほか、策定にあたってのアンケートを実施した。

- ・対象：日本学術会議第 23 期会員及び第 22 期大型研究計画提案者（不採択になった計画の応募者も含む）
- ・期間：平成 27 年 7 月 14 日～8 月 31 日
- ・アンケートに対する回答数（H27.9.28 時点）：前回提案者から計 119 件
日本学術会議会員から計 46 件
- ・主な回答
 - ・今回のマスタープラン 2017 の基本的な選定方針はマスタープラン 2014 に準拠して行うこととしているが、この方針に対して好意的な意見が多数見られた。
 - ・予算規模などに対するコメントが多数見られた。
 - ・融合領域の設定について、関心が高かった。